

ちばしや通信 (Vol.11)

特集

福祉・介護における
“クオリティ”（支援の質）
を考える④

前号に引き続き、福祉・介護における
“クオリティ”（支援の質）を他地域での実践
事例を通じて考えていきたいと思ひます。

【事例】小規模多機能ひなた

（高齢分野：小規模多機能型居宅介護）

地域の生活支援の拠点づくりを
目指して

○事業所の活動内容

美瑛慈光園小規模多機能ひなた（以下、ひなた）は、4つの生活圏域の1つ、市街地から12 km離れた美馬牛という集落に、2009年4月に新築で開設した。地域の生活支援の拠点づくりをめざして、以下の取り組みを行っている。

拠点づくりのめざす方向は、住民のみなさんが、住み慣れた地域で住み続けていくための様々な課題を、自らのこととして考え、その解決のために、ひなたをうまく使っていただくことである。そのためには、ひなたの運営を通じて、地域の中にひなたの理解者、協力者を作っていくことだと考えて活動している。



小規模多機能ひなた



事業所の裏で飼っている羊
小学生の子たちが見に来ている

○地域とのつながりをつくる

■事業所と町内会

町内会は、そこに住む住民の方々で作られた自治組織である。事業所が町内会に加入するという事は、ただ町内会に加入して会費を納めるということではなく、住民として参加するという事だと考えている。ひなたは、町内会の一員として、町内会の住民の方々と大変近い関係をつくっている。

もちろん、町内会の総会やお祭りなどの行事などには積極的に参加しているが、町内会のつながりに決定的な変化をもたらしたのは、美瑛の市街地に住んでいた、ひなたの女性の所長が事業所のある町内会の同じ班に引っ越して来たということであった。

引っ越して来てすぐに、班の中でお葬式が2つ立て続けにあり、しかも事業所に班長が回ってきていたため、事業所の職員が手伝いに参加することとなった。所長は班長として、賄いを取り仕切らなければならない、年配のご婦人たちに1から教えてもらいながら、何とか役割を果たす。職員も受け付けなどの手伝いを無事こなして、2つの葬儀を終了することができた。

この葬儀の手伝いを通して、町内会の人たちから見て、彼女は事業所の所長から、同じ町内の〇〇ちゃんへ変化していったのである。

所長が引っ越して来て、事業所が班長として2つの葬儀を手伝って、町内会の中で事業

所と住民のみなさんとの距離は人と人との距離とともに大変近い関係になっていった。

■月1回の昼食会

地域のお年寄りが集まることができる場所を作りたいと考え、3年前から町内の公民館を借りて、月1回昼食会を行っている。当初は、事業所の職員が全て段取りして、昼食づくりを参加者に手伝ってもらってスタートしたが、現在は、参加した方々が主体で昼食を作ってみんなで食べるという形に変化している。

1回の参加者は、20名前後、参加費400円で、地域の方々に回覧板を使って呼びかけをし、行っている。



地域のお年寄りといなたの利用者が、みんなで昼食をつくり、そして食事会

■家族会の組織化

いなたでは、利用者家族の会を作って、年に数回集まる機会を作っている。

焼肉をしたり、各自が1品ずつ料理を持ち寄ったり、鍋を囲んだりして、家族同士の交流や、事業所からの情報の発信などを行っている。

卒業した家族の方々の中には、引き続き参加させて欲しいということで、家族会に残っている方もおり、家族会は、いわば事業所の応援団となっている。事業所に相談に来て、ともに介護を実践する中で、事業所のよき理解者という関係ができたということである。

○シームレスな支援

いなたの登録者は現在23名であるが、登録されていない方も通って来ている。

元気なうちから、昼食会に参加する、事業所に通ってくる・・・事業所とつながっていて、介護が必要になったら登録するという、切れ目のない支援を通し、本人との関係、家族介護者との関係を早くから作っていくことが、「住み慣れた地域で粘る」という支援にとって大変重要だと考えてのものである。

○運営推進会議で地域課題の話し合い

いなたの運営推進会議は、各行政区の区長、老人会の会長、民生委員、地域代表の女性、利用者、利用者家族、役場地域包括職員などで構成されている。

運営推進会議は年6回実施しているが、焼肉、忘年会、新年会など、推進委員と職員の交流を大切にしながら運営してきている。

話し合いの内容は、事業所の運営状況の報告や避難訓練の計画・実施、事業所で羊を飼う相談、事業所の運営課題などと合わせ、生活圏内の高齢者の生活支援ネットワークづくりなど、地域の課題についても話し合われている。



家族会の新年会（1月）

ひなた（北海道上川郡美瑛町）

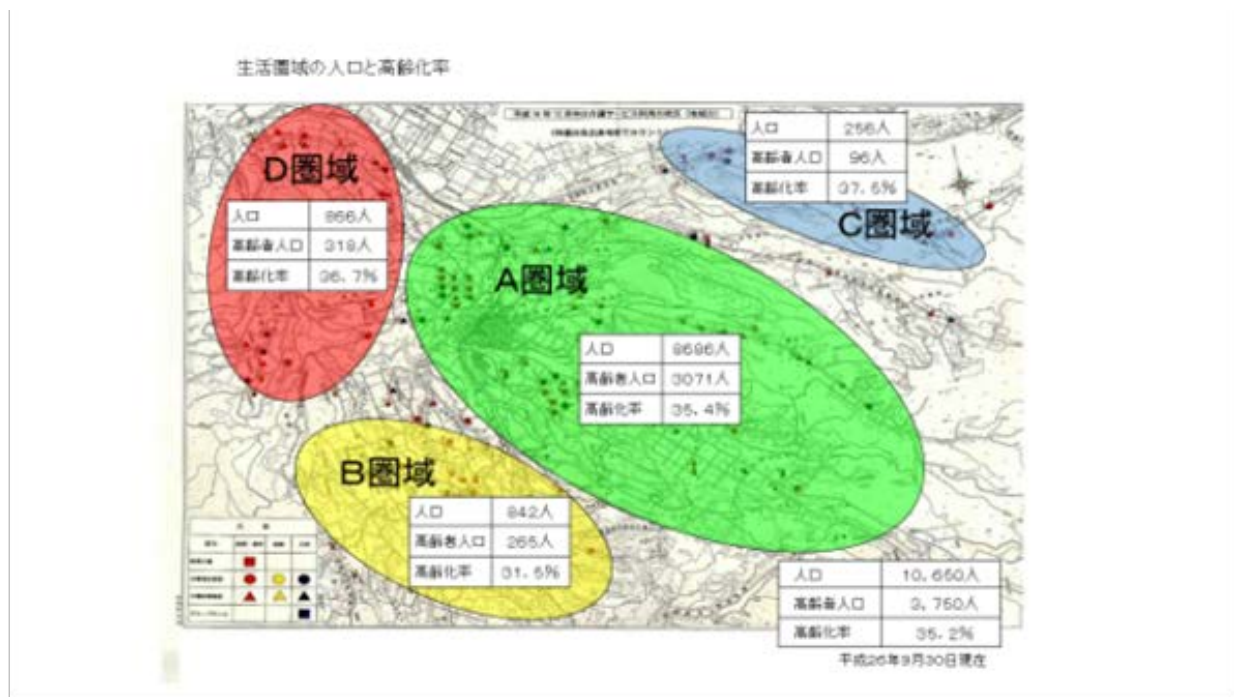
【事業所名】美瑛慈光園小規模多機能ひなた 【法人種類】社会福祉法人

【事業所住所】北海道上川郡美瑛町美馬牛北1丁目2番9号

【生活圏域の設定数】4つ

【生活圏域の地域特徴】

全盛期は、JR富良野線美馬牛駅を中心に、駅前には農協の支所があり、美馬牛の市街地を形成。その周辺には留辺蘂、新屋、二股の農村地帯が広がる地域であった。現在は、農協の支所も取り壊され、市街地の商店もなくなり、市街地の人口も減少、農村部も離農による人口の減少に伴い、地域の小学校も統廃合され、現在美馬牛地区に小学校と中学校が残っているという現状である。



町内に4つの生活圏域を設定し、圏域ごとに小規模多機能型居宅介護支援事業所を地域拠点として整備



※注 特集の原稿は、紹介する団体や関係団体から提供される原稿、又は本会取材の原稿等からになります。原稿によって文体が異なる場合がありますので、ご承知おきください。

徒然なるままに…

私も入職してから早いもので、今月で上半期が終わろうとしている。

五根の家には一日一回は足を運びご利用者や職員の方々とのコミュニケーションを図りたいという思いから顔を出させて頂いているが、この原稿を書く時期は一両日、それに専念するので現場に行けず申し訳ないと思っている。本会では隣の鶺鴒の家（高齢・児童）始め、ぽけっと・ハンドワーク・カバの家等々、障害児の保育施設や、就労支援施設など九つの事業所を有しているが、これら全ての事業所にも出来るだけお伺いしたいと思いながら、猛暑の中、車での移動は寒暖差に少々堪える時期でもある。

特に、今年は梅雨明けと同時に猛暑日となり暑い日々が続いたが、一転気温は急降下し、ぐずつき模様の冷夏となり、年々、気候変動に拍車がかかっていると身をもって感じている今日この頃である。

公私を問わず車で移動していると、周囲の風景に目を移すことがあるが、東金を中心としたこの地域は豊かな田園地帯で実りの秋でもある。

今年は、秋雨前線の襲来が二週間程度早いのではないかと感じる、例年八月のお盆が過ぎると間もなく、水稻早生品種の刈り取りが始まり、大型コンバインをそこそこに見かけ、まさに、収穫の秋、農家の方々の喜びとともに夏の風物詩を身近に感じる季節となっている。

今年は、この秋雨前線の影響で、農家の人達は大変な苦勞している。

加えて、米価は低迷し、今年の買取り価格は昨年よりやや上向いたものの、一昨年から比べると20%の下落率である。これを、一般のサラリーマンと比較したらどうであろうか、給与所得者が経営者から、あなたの給料は今年から20%減額しますと言われ、十分な説明がなされたとしてもなかなか納得はできないのではないか。今回、川崎市の有料老人ホームでの、入所者の不審な死亡事故がマスコミに取り上げられ、報道番組での有識者のコメントで、様々な角度から介護現場の置かれている、現状分析、過酷ともいえる労働環境、給与等、処遇の問題について触れている。

勿論、高い経営理念と人材育成、教育研修は大変重要な部分であり、対人支援の現場は障害児・者の支援に関わる現場も同様、労働の対価としての報酬は、一般の給与所得者と比べれば、低い水準にあることは周知の事であるが、それでも、福祉・介護の現場で働く職員は、高い志と、情熱、何よりも福祉は心意気だと頑張っている。

一般社会のなかで、時折、発生する高齢者や障害児施設での虐待の問題は、同じ仕事をしている私どもにとって、とても残念なことである。かつて、国の基幹産業であった稲作農家の現状が厳しいのだから、介護や福祉の仕事に従事している人達は頑張るといつつもりはないが、一人ひとり誇りを持って、今の仕事に励んで行きたいと思う。

（齊藤 操／総合施設長）

各種イベント&活動情報

東金市 きもの地サロン

着なくなった着物をほどこき、アクセサリー、ポーチ、バッグ、タペストリーなどの小物から服まで、その人に合わせてリメイクするサロンです。

開催日：10月12日（月）
10月26日（月）

興味のある方は連絡ください。鶺鴒の家（50-0285）

東金市 ヨガサロン

旧道の岸本薬局の斜め向かいにある「ありさ」の2階で開催中。

開催日：10月7日（水）
10月21日（水）

興味のある方はご連絡ください。ありさ（50-0362）

東金市 穂垂るの会

介護している方々が集まって日々の苦勞話等を気軽に本音で話し合う会です。

日時：10月8日（木）
13:00～16:00

会場：ふれあいセンター
経費：200円（お茶代）

主催・連絡先：穂垂るの会・井上
（090-7171-1701）

山武郡 ときがね・街かど福祉塾

2011年2月より休止していた、「ときがね・街かど福祉塾」を4年半ぶりに再開いたします。今回のテーマは、地域共生ケアです。高齢者ケアを軸として、多様な人達との関わりから地域共生ケアを考える会にしたいと思います。ぜひご参加ください。

(主催・問合せ先：NPO 法人ちば地域生活支援舎 Tel:0475-53-3630)

◆「地域で誰もが普通に暮らすとは」

日時：平成27年10月31日(土) 17:30~20:30

会場：東金市中央公民館・研修室

講師：山越孝浩(全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会・事務局長)

荒木隆一(ロザリオの聖母会 ナザレの家あさひ・所長)

◆「共に支える介護とは(高齢者×子ども)」

日時：平成27年11月23日(月) 17:30~20:30

会場：東金市中央公民館・研修室

講師：加藤忠相(あおいけあ・代表)

森田マキ(また明日デイホーム・寄り合い所・小さな保育園虹のおうち・代表)

千葉県 地域密着型サービス事業所・キャリアパワーアップ講座

◆対象・定員 千葉県内の地域密着型サービスに所属する介護職員及び管理者・中堅職員 30名

◆主催・問合せ先 特定非営利活動法人ちば地域密着ケア協議会

(Tel:043-244-2601/担当:大石)

(1)介護・福祉職員のビジネスマナー研修

日時：平成27年10月23日(金)

13:00~17:00

会場：千葉県経営者会館・研修室

講師：中川清隆

(2)チームワーク向上研修

日時：平成27年11月24日(火)

13:00~17:00

会場：千葉県経営者会館・研修室

講師：菊地みほ

(3)リーダーシップ向上研修

日時：平成27年12月14日(月)

13:00~17:00

会場：千葉県経営者会館・研修室

講師：山郷政史

(4)モチベーションアップ研修

日時：平成28年1月18日(月)

13:00~17:00

会場：千葉県経営者会館・研修室

講師：山郷政史

(5)クレーム対応能力向上研修

日時：平成28年2月2日(火)

13:00~17:00

会場：千葉県経営者会館・研修室

講師：山郷政史

(6)業務改善能力研修

日時：平成28年2月18日(木)

13:00~17:00

会場：千葉県経営者会館・研修室

講師：山郷政史

法人内の各事業所から

鶉嶺の家(高齢者・障がい者)

猛暑が続いた夏も終わりを迎え、少しずつ涼しくなってきました。この夏、鶉嶺の台所には新たにエアコンが設置され、食器洗いを手伝ってくれる利用者の方たちはもちろん、私たちスタッフも残暑を乗り切ることが出来ました。

週2日利用されているYさんも暑い中食器拭き、洗濯物たたみ、他の利用者の方の送迎など色々お手伝いしてくれました。そんなYさんは、くまもん・ふなっしーといったゆるキャラが大好きで、スタッフにゆるキャラ

についてお話ししてくれます。最近の一押しは茨城のねばーるくんだそうです。楽しそうにお話ししているYさんを見ていると暑さを忘れ、癒されてしまうスタッフもいるそうです。

K君とH君は7月に続き、汗を流しながらすごい集中力で草むしりに取り組んでくれました。スタッフが暑さに耐えられず先にバテてしまうくらいです(^_^)鶉嶺の庭も徐々にきれいになり、2人に負けていけないと密かに闘志を燃やすスタッフでした。

鴉嶺の家（児童）

長いようでやっぱり長かった夏休みが無事終わりました。大きなケガ等もなく色々な所へお出かけした日々は、暑くて大変でしたけれどやっぱり充実していて楽しかったです。中年スタッフにとっては気合と気力だけで乗り切った感はあるのですが…。

ご家族の皆さんには、送迎や水筒の持参等、色々ご協力頂き、ありがとうございました。

夏休みの発見の様子をごく一部ご紹介したいと思います。A君はセミ捕りがとっても上手。30分の間に10匹も捕まえます。セミと言えば男性スタッフAがセミを触りたがらず、実はビビっていたことが判明。からかわ

れた後は、頑張って掴んでいました。夏休みでだいぶ慣れてきたB君が、大人の言うことを全く聞かないことが判明。わざと悪さをしたり、ゴネたり、たくさんのスタッフを振り回していました。それって大変ですが、スタッフは鍛えられ「勉強になります！」という感じでした。

去年は外出を嫌がり次の行動にすぐ移れなかった、暑さに弱いCちゃんが、今年はよく外出して行動もスムーズでした。体力と共に成長を感じました。夏は成長の時期だと聞いたことがあります。スタッフも夏休みで鍛えられ成長していることでしょう。

子ども支援センターぽけっと

夏の暑さも日に日に和らぎ虫たちの鳴き声が響き渡る季節となりました。長かった夏休みも無事に終わり学校から帰ってくると大きな欠伸をする子、ゴロンと横になる子や甘えてくる子ども達…。慣れないリズムの中でも一生懸命頑張ってきた証拠かな、と思います。

ある日の事…。久々の部活動から帰ってきたムードメーカーのTくん、おやつを運ぶ手があまりにもスローテンポでとても疲れて

いる様子でした。そんなTくんの耳に『妖怪ウォッチ』の音楽が聞こえ始めると何かが切り替わったようにいつもの元気な踊りを見せてくれました。一人一人切り替わるポイントは違うと思いますが、子ども達それぞれが楽しめるよう私たちも頑張ります。これからの季節、体を動かすにはもってこい！！どんぐり拾いや落ち葉遊びなどなどスタッフのダイエットも兼ね皆でたくさん遊びましょう(^o^)

街かど福祉相談室ると

今年度も半分が終わろうとしています。おかげさまで色々な方になるとを知って頂けるようになりました。

お母さんや家族の方と小さいお子さんが来られる場合もよくありまして、飽きてしまわないよういろいろ考えます。最近はおもちゃを用意するようになりました。ただ、どのおもちゃにヒットするかはその子次第ですので適当に置いてあるのですが……。今は数少ないおもちゃで遊んでもらっています。で、最近思うのは、とりあえず『アンパンマン』！これにヒットする子は多く、改めてや

なせたかしさんの偉大さを感じます。備品を買いに行っても、これだったら楽しんでくれるかなとついついおもちゃのコーナーに足が向いてしまいます。

この間テレビで、外国人がどの日本のおもちゃが一番好きかという番組をやっていました。こちらが話した言葉を繰り返すというハムスター？のぬいぐるみが1位でしたが、「これほしい！」と私も思いました。子どもだけではなく大人も楽しめる日本のおもちゃは素晴らしいですね。

サポートセンタースピリッツ

2年前に横浜から大網に引っ越しをされてきた全盲のAさんは、「同行援護（視覚障がい者の外出時の付き添い支援）を使いたくても、ヘルパーがない。」とよく不満を漏らされます。話を伺うと確かに、横浜はヘルパー事業も多く、同行援護従業者や視覚障がい者の方に接するボランティアの数もこの辺の地域に比べかなり多いようです。もちろん、そもそも人口が違うし、視覚障がい者の方の

数も多いのですが、「田舎だから」とか「あまり利用する人がいないから」という問題で、そのような方々が不便に思うことは決していいことではないと思います。スピリッツで同行援護を利用される方はまだあまりいらっしゃいませんが、今後、利用される方に少しでも不便に思われないような環境を作っていきたいと思います。

ハンドワーク

お菓子作りが始まり10月で1年が経とうとしています。初めは、試作品作りからのスタートでクラッカー・クッキー作りを始めました。今年のバレンタインにはチョコレート作りをチャレンジしたものの、上手くチョコレートのテンパーリングが出来なくて失敗に終わってしまいました。

今はシフォンケーキ・クッキー作りをやっており、シフォンケーキは、東金市役所やイ

ベントにて販売しております。味は抹茶・プレーン・ココアの3種類です。

今後は、ギフト詰めのような感じの製品として販売できるようにお菓子作りに励んでいきたいと思っています。

多くの人に「おいしい」と喜んで食べてもらえる、あたたかいお菓子を作れるよう、皆で頑張っていきたいと思います。

ありさ

前号の続きになりますが、まだまだあります！言い間違いに聞き間違い！

よくスピリッツ利用でお出かけするHさんは、行ってきたことをたくさん話してくれます。先日も「農協の鼻クソに行ってきたんだ！！」と目をキラキラさせながら話すHさん。「農協??」「鼻クソ??？」と思いきや、よくよく聞くと「東京の浅草」でした(笑)。「ブラジル美味しいよ！！」と青汁を勧めてく

れたり、「K君は江戸時代(江戸時代)が好きだからな！！」と皆と話したり、その度に爆笑の渦が巻き起こります。そんな様子を見るだけでほっこりとした気持ちになります。

聞き間違いソングに新曲が出来たのでご紹介します。曲はアンパンマン体操です。「アンパンマンは君塚〜♪」毎日が笑顔に溢れた、楽しいお店です。皆さんも近くに来た時は是非お立ち寄りください。お待ちしております。

かばの家

暑い時期が終わってパン作りが8月24日(月)より再開しました。パン作りを休んでいる期間ペットボトルキャップを分別する作業、子どもワクチンサポーター通称エコキャップ活動をしました。また、8月20日(木)に市川市行徳にある社会福祉法人市川レンコンの会第3レンコンの家ケーキ工房ロチェスへ見学に行ってきました。パウンドケー

キやクッキー、ジャムなどを作っています。利用者さんと支援者さんがミキサーの中に材料を入れて回し、その後型に入れオーブンで焼く作業をしていました。また別の部屋では内職のようなビニールの袋詰めや袋作り、箱の組み立て等を行っていました。お店の中はその場の感じで飲食できる席もありました。明るい感じで良かったです。

五根の家・グループホーム

Hさんは、普段少食の方ですが、鰻が好物のようで、鰻屋さんに行くと、どんぶりを持ってペロリと完食されます。なので、お誕生日には、鰻を食べに行こうと考えていました。しかし、体調不良の関係で食べに行くのは難しく、やむなく買ってきてお出ししました。それでも、Hさんはしっかりと完食され、とても喜んでおられました。Mさんは、男性ス

タッフが料理をしていると、野菜切りを手伝って下さいました。人参の乱切りが途中からいちょう切りに変わったり、おろし器でキュウリのスライスをしていると、おろし器が裏返しになって途中からすりおろし器に変わったりと、ちょっとしたハプニングもありましたが、みんなで作ったカレーライスやサラダを美味しく頂きました。

五根の家・小規模多機能ホーム

Tさんは、夕食を五根の家で召し上がる予定でしたが、昼食後うちに帰りたいとの事で、夕方自宅に送った後でお弁当を届ける約束をしました。18時頃、スタッフがお弁当を届けると、久しぶりに台所に立って冷蔵庫で暫く眠っていたジャガイモで味噌汁を作り、ご近所から頂いたきゅうりのぬか漬けを準備していました。ご本人はお届けしたお弁当を召し上がり、味噌汁とぬか漬けは、スタッフに振る舞ってくれました。少し濃い目…で

したが、美味しく頂きました。ご馳走様でした。

最近、利用を開始されたOさんは元ホームヘルパーさんのようで、五根の家で家事等をして下さり、とても助かっています。他の方との会話では、とても物腰が柔らかくスタッフも後輩として見習うことが多いです。利用者さんからは『いい人（スタッフ？）が入ったね』と…（--；）

新規拠点・プロジェクト スタート!!

『地域福祉情報・相談センターりんく』

日時：平成27年9月15日（火）10:00より
場所：東金ショッピングセンター「サンピア」内1F
（※ステージコート脇）
内容：福祉、介護、子育て、ボランティア・
市民活動に関する情報提供、相談等

★福祉・介護・子育て等に関する情報の掲示・
配布をご希望の方は、本会までご相談ください。

法人事務局：0475-53-3630
（月～金/10:00～17:00）



ちばしゃ通信 (Vol.11)

発行日：2015年9月19日
発行元：ちば地域生活支援舎
編集責任者：宮下・太齋
連絡先：0475-53-3630

編集者のつぶやき

- ・いろいろな方のお蔭で「サンピア」に出店することになりました。以前からの希望であったので、本当にうれしく、また、関係の皆様本当に感謝しています。でも本番はこれから…一歩ずつ着実にカタチにしていきたいと思っておりますので応援よろしくお願いします。(Jerry)
- ・9月に入り雨の日が多くなりました。蒸し暑かったり、一気に冷えたりと気温の変化についていくのが大変です。季節の変わり目は体調を崩しやすいので気を付けたいですね。(W)